

- 東京都及び東京都医学総合研究所は、令和6年1月17日に「**学校の居心地向上検証プロジェクト**」に係る協定を締結しました。
- 本協定に基づき、**モデル校**において、**学校において児童・生徒の居心地向上に資する取組を実施し、居心地の意識への影響等について検証**します。

スタート!

「学校の居心地向上検証プロジェクト」の取組内容

- 子供の健康・発達の疫学研究に知見を有する**東京都医学総合研究所**と協定を締結し、**教育庁**と連携の下、実施

POINT 1 世界で実践されている学校の居心地向上に向けた取組

“学校の居心地を向上させる取組”を都立のモデル校で実践



School Climate Scale (世界的に使用されている学校風土を測る尺度)を参考にした都独自の生徒への学校の居心地調査

POINT 2 子供のメンタルヘルスに関する研究をリードするヴィクラム医学博士との連携

海外の先進事例等を紹介する**研修プログラム**を、**医学研及びハーバード大学と協力し開発**の上、学校関係者に向けた研修を実施



ヴィクラム・パテル氏
ハーバード大学医学部教授
ハーバード大学医学部国際保健・社会医学科長

相互連携

今回参考にする海外の先進的な取組: 「**全校健康促進プログラムSEHER**」
～世界5大医学誌の一つ“Lancet”で発表された、科学的エビデンスに基づくプログラム～

エビデンス
ベース

【学校の居心地を向上させる海外の先進事例】

＜活動例＞



生徒が匿名で投書できる意見箱を設置



学校全体で行う活動について、グループで話し合い



健康・勉強等について相談できる**カウンセリングの場**を設置

高い効果

- ・うつ **100点中約17点減**
- ・いじめ **約90%減**
- ・暴力 **約85%減**

学校の居心地向上



学校での活動の様子